

の長径は9mm), 11月6日にも産卵した(長径8mm). その後ヒシバッタを与えてもほとんど捕食しなかったが, 11月下旬にも産卵し(長径7mm), 12月17日まで生存していた.

なお, 1997年11月8日には, 三熊山の測候所の近くで本種の1♀を採集したので併せて報告しておく.

(ほりた ひさし)

安乎町におけるトゲナナフシの記録 堀田 久²

筆者は1991年に, 安乎町でトゲナナフシ *Neohirasea japonica* を採集したが(本誌38号), その後も1992年から1996年にかけて, 安乎町の自宅付近で毎年のように1~2頭の本種を確認している.

1997年には下記のように, これまでより多くの個体を確認したので報告しておく.

1997年10月10日	1♀	安乎町北谷(自宅の庭)
1997年10月16日	1♀	安乎町北谷(自宅の床下)
1997年11月3日	1♀	安乎町北谷(自宅の花畑)
1997年11月4日	1♀	安乎町北谷(自宅のミカン畑)
1997年11月10日	1♀	安乎町北谷(自宅の納屋)

なお, 10月16日の個体は標本として保管している. また, 11月3日の個体は採集して飼育ケースに入れ, ヤマブキとカシの葉を与えたところ, ヤマブキの葉をかなり食べて11月20日まで生存していた.

(ほりた ひさし)

イシガケチョウについて 谷川 大海³

パルナシウス No.41 で報告して以来, 毎年同じ場所(洲本市池田, 食樹イヌビワ)で観察を続けてきた. その結果を報告する.

1995年	} 3月下旬から6月上旬まで 卵・幼虫, 成虫のいずれも発見できず.
1996年	
1997年	

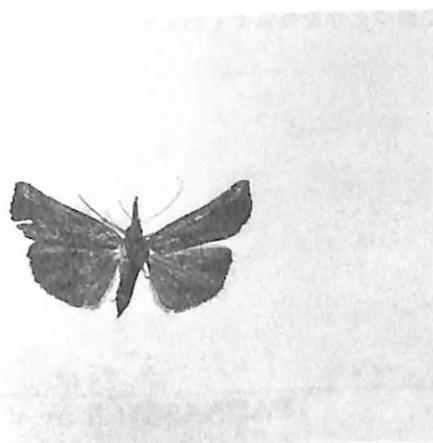
3: 〒656-0055 洲本市大野1018-2

1995年	6月10日	2令幼虫	2匹
		1令幼虫	6匹
	6月12日	卵	4個
1996年	6月22日	1令幼虫	5匹
		2令幼虫	1匹
		3令幼虫	1匹
	7月26日	卵	3個
	7月31日	2令幼虫	3匹
1997年	6月10日	2令幼虫	1匹
		6月14日	卵

以上発見し、そのうちのいくらかを飼育箱で飼育観察した。これらのことから、次のように考えている。私の観察地でのイヌビワの芽吹きは4月10日ごろである。6月上旬まで卵が見られないことから越冬母蝶はここに産卵にはこない。他の場所で羽化した第1化が、6月上旬にここに来て産卵。これらは7月上旬に羽化(第2化)。この第2化母蝶もここで産卵。これらは8月上旬に羽化(第3化)。そしてこの第3化はここから飛び去ってその年は戻ってこない。4年間の観察でここで成虫を採取したのは1994年5月29日の1回きりである。

(たにがわ だいかい)

Hypena lignealis Walker オスグロホソアツバの記録 藤平 明⁴



採集年月日 1995.4.15
場所 南淡町灘大川
方法 灯火採集

4: 〒656-0541 三原郡南淡町阿万上町 794